

様式第1号(乙) (第2条関係)

収 支 報 告 書

令和7年 4月 30日

堺市議会議員 田淵 和夫 様

議員氏名 小堀 清次

堺市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、令和6年度政務活動費について次のとおり報告します。

収入

(単位 円)

収 入 の 種 類	決 算 額	算 出 基 礎 等
1 政務活動費 2 その他	3,240,000	@270000円 × 12ヶ月 = 3,240,000 円
収 入 合 計	3,240,000	

支出

使 途 項 目	決 算 額	左のうち政務活動費充当額	備 考
調 査 研 究 費	1,189,588	1,189,588	
研 修 費	138,461	138,461	
要 請・陳 情 活 動 費	0		
会 議 費	0		
資 料 作 成 費	0		
資 料 購 入 費	99,215	99,215	
広 報・広 聴 費	980,685	980,685	
人 件 費	0		
事 務・事 務 所 費	826,540	826,540	
支 出 合 計	3,234,489	3,234,489	

様式第 14 号（第 7 条関係）

令和 6 年度

事業実施報告書

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

主な事業・行事名	期 日	内 容 の 説 明
調査研究費	4/1～3/31	先進的な支援学校への視察、社会的処方への取り組みなどについての現地調査など通じて、市議会での議論礎とした。
資料購入費	4/1～3/31	議員活動に資する情報収集のため、資料を購入し、「都市問題」などを定期購読した。
広報・広聴費	4/1～3/31	広く市民意見の聴取に努めると共に、議会活動報告を作成配布を行なった。
事務・事務所費	4/1～3/31	政務活動を行うため、南区高倉台に事務所を常設し、通信費や光熱水費等の慣例経費等を支出した。

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.4.1	1		2,747	-2,747	水道料金	⑨	
6.4.9	2		2,200	-4,947	視察代	①	
6.4.9	3		6,503	-11,450	宿泊代	①	
6.4.10		810,000		798,550	政務活動費		
6.4.10	4		950	797,600	タクシー代	①	
6.4.10	5の1		850	796,750	タクシー代	①	
6.4.11	5の2		4,780	791,970	宿泊代	①	
6.4.11	6		770	791,200	タクシー代	①	
6.4.11	7		1,173	790,027	ガソリン代	⑦	
6.4.12	8		3,000	787,027	見学資料代	①	
6.4.15	9		8,152	778,875	日本地域福祉学会 年会費	②	
6.4.16	10		1,756	777,119	光熱費	⑨	
6.4.18	11		38,175	738,944	事務所の賃借料	③	
6.4.19	12		9,600	729,344	本代	⑥	
6.4.19	13		7,158	722,186	本代	⑥	
6.4.22	14		1,644	720,542	ガソリン代	⑦	
6.4.23	15		6,000	714,542	学習参加費	②	
6.4.25	16		7,944	706,598	電話代	⑨	
6.4.25	17		4,900	701,698	新聞購読料	⑥	
6.4.26	18		19,207	682,491	携帯電話代	⑨	
6.4.30	19		2,419	680,072	ガソリン代	⑦	
月計		810,000	129,928	680,072			
累計		810,000	129,928	680,072			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。(政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など)

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。(次の番号の記載でも可) (①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費)

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.5.9	20		1,610	678,462	ガソリン代	④	
6.5.16	21		1,152	677,310	堺原爆被害者の会	①	
6.5.20	22		38,175	639,135	事務所の賃借料	⑨	
6.5.20	23		33,230	605,905	航空券代	①	
6.5.20	24		1,927	603,978	ガス代、電気代	⑨	
6.5.22	25		3,600	600,378	通信の年会費	①	
6.5.24	26		3,591	596,787	ガソリン代	④	
6.5.25	27		2,750	594,037	本代	⑥	
6.5.25	27-2		25,380	568,657	航空券代	①	
6.5.26	28		1,850	566,807	ガソリン代	④	
6.5.27	29		17,922	548,885	携帯電話代	⑨	
6.5.29	30		2,747	546,138	水道代	⑨	
6.5.30	31		4,900	541,238	新聞購読料	⑥	
月 計		0	138,834	-138,834			
累 計		810,000	268,762	541,238			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内 容	項 目	そ の 他
6.6.7	32		10,000	531,238	学会参加費	②	
6.6.9	33		855	530,383	事務所の電気代	⑨	
6.6.9	34		26,260	504,123	乗車券代	①	
6.6.9	35		6,000	498,123	宿泊代	①	
6.6.9	36		24,160	473,963	乗車券代	①	
6.6.9	37		3,260	470,703	乗車券代	①	
6.6.10	38		520	470,183	乗車券代	①	
5.6.10	39		1,070	469,113	タクシー代	①	
6.6.11	40		1,639	467,474	ガソリン代	⑦	
6.6.14	41		20,090	447,384	宿泊代	①	
6.6.16	42		3,680	443,704	乗車券代	①	
6.6.19	43		14,510	429,194	航空券代	①	
6.6.19	44		3,492	425,702	ガソリン代	⑦	
6.6.21	45		38,175	387,527	事務所の賃借料	⑨	
6.6.21	46		2,903	384,624	光熱費	⑨	
6.6.21	47		1,549	383,075	ガソリン代	⑦	
6.6.22	48		14,000	369,075	宿泊代	①	
6.6.25	49		6,060	363,015	電話代	⑨	
6.6.26	50		17,655	345,360	携帯電話代	⑨	
6.6.28	51		4,900	340,460	新聞購読料	⑨	
月 計		0	200,778	-200,778			
累 計		810,000	469,540	340,460			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.7.1	52		7,600	332,860	乗車券代	①	
6.7.1	53		32,670	300,190	乗車券代	①	
6.7.1	54		1,230	298,960	タクシー代	①	
6.7.1	55		6,825	292,135	宿泊代	①	
6.7.2	56		1,330	290,805	タクシー代	①	
6.7.2	57		300	290,505	入場券代	①	
6.7.2	58		5,000	285,505	宿泊代	①	
6.7.2	59		1,980	283,525	ガソリン代	⑦	
6.7.3	60		400	283,125	入場料	①	
6.7.3	61		200	282,925	駐車場代	⑦	
6.7.6	62		2,130	280,795	乗車券代	①	
6.7.6	63		1,790	279,005	タクシー代	①	
6.7.4	64		6,650	272,355	宿泊代	①	
6.7.7	65		2,130	270,225	乗車券代	①	
6.7.7	66		2,150	268,075	タクシー代	①	
6.7.8	67		4,911	263,164	新聞購読料	⑥	
6.7.9	68		13,945	249,219	宿泊代	①	
6.7.9	69		1,400	247,819	タクシー代	①	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.7.9	70		1,310	246,509	タクシー代	①	
6.7.9	71		22,634	223,875	宿泊代	①	
6.7.10		810,000		1,033,875	政務活動費		
6.7.12	72		25,200	1,008,675	宿泊代	①	
6.7.12	72-2		3,000	1,005,675	研修代	②	
6.7.15	73		1,595	1,004,080	ガソリン代	⑦	
6.7.16	74		24,160	979,920	乗車券代	①	
6.7.16	76		38,175	941,745	事務所家賃	⑨	
6.7.18	77		1,794	939,951	ガソリン代	⑦	
6.7.19	78		660	939,291	駐車場代	⑦	
6.7.19	79		10,380	928,911	乗車券代	①	
6.7.19	80		34,710	894,201	乗車券代	①	
6.7.22	81		2,910	891,291	光熱水費	⑨	
6.7.24	82		6,490	884,801	宿泊代	①	
6.7.25	83		1,620	883,181	乗車券代	①	
6.7.25	84		27,950	855,231	乗車券代	①	
6.7.25	85		250	854,981	入館料	①	
6.7.25	86		13,820	841,161	宿泊代	①	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6. 7. 26	87		3,300	837,861	タクシー代	①	
6. 7. 26	88		2,440	835,421	特急券代	①	
6. 7. 26	89		12,500	822,921	宿泊代	①	
6. 7. 26	90		18,180	804,741	公務用携帯電話	⑨	
6. 7. 26	91		1,671	803,070	ガソリン代	⑦	
6. 7. 27	92		1,120	801,950	乗車券代	①	
6. 7. 27	93		1,320	800,630	文献複写代	⑥	
6. 7. 30	94		25,000	775,630	視察費	①	
6. 7. 30	95		6,820	768,810	宿泊代	①	
6. 7. 31	96		2,889	765,921	水道代	⑨	
6. 7. 31	97		4,900	761,021	新聞購読料	⑥	
月 計		810,000	389,439	420,561			
累 計		1,620,000	858,979	761,021			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
5.8.1	98		18,000	743,021	会費	①	
6.8.1	99		3,314	739,707	ガソリン代	⑦	
6.8.5	100		1,610	738,097	ガソリン代	⑦	
6.8.5	101		46,720	691,377	乗車券代	①	
6.8.5	102		12,900	678,477	宿泊代	①	
6.8.6	103		13,700	664,777	宿泊代	①	
6.8.7	104		600	664,177	タクシー代	①	
6.8.7	105		7,000	657,177	宿泊代	①	
6.8.8	106		12,200	644,977	宿泊代	①	
6.8.9	107		8,000	636,977	宿泊代	①	
6.8.10	108		690	636,287	タクシー代	①	
6.8.10	109		7,000	629,287	宿泊代	①	
6.8.11	110		1,519	627,768	ガソリン代	⑦	
6.8.20	112		3,297	624,471	ガス代	⑨	
6.8.20	113		38,175	586,296	事務所費	⑨	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.8.22	114		1,754	584,542	ガソリン代	⑦	
6.8.22	115		7,910	576,632	宿泊代	①	
6.8.23	116		10,000	566,632	研修会費	①	
6.8.24	117		9,000	557,632	宿泊代	①	
6.8.24	119		280	557,352	バス代	①	
6.8.24	120		3,000	554,352	会議参加費	②	
6.8.24	121		11,000	543,352	宿泊代	①	
6.8.24	122		2,904	540,448	ガソリン代	⑦	
6.8.26	123		6,557	533,891	固定電話代	⑨	
6.8.26	124		18,747	515,144	携帯電話代	⑨	
6.8.30	125		550	514,594	書籍代	⑥	
6.8.31	126		4,900	509,694	新聞購読代	⑥	
月 計		0	251,327	-251,327			
累 計		1,620,000	1,110,306	509,694			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内 容	項目	その 他
6.9.6	127		1,737	507,957	ガソリン代	㉞	
6.9.10	128		3,188	504,769	ガソリン代	㉞	
6.9.10	129		18,060	486,709	乗車券代	①	
6.9.14	131		1,155	485,554	ガソリン代	㉞	
6.9.14	132		880	484,674	タイプCケーブル	㉞	
6.9.15	133		8,877	475,797	モバイルバッテリー	㉞	
6.9.15	134		9,900	465,897	宿泊代	①	
6.9.16	135		980	464,917	乗車券代	①	
6.9.16	136		730	464,187	指定券代	①	
6.9.16	137		9,700	454,487	宿泊代	①	
6.9.17	138		38,175	416,312	事務所賃料	㉞	
6.9.19	139		1,732	414,580	ガソリン代	㉞	
6.9.20	140		4,343	410,237	光熱水費	㉞	
6.9.25	141		800	409,437	駐車場代	㉞	
6.9.26	142		17,643	391,794	携帯電話代	㉞	
6.9.27	143		12,260	379,534	乗車券代	①	
6.9.28	144		2,739	376,795	ガソリン代	㉞	
6.9.28	145		4,900	371,895	新聞購読料	c	
月 計		0	137,799	-137,799			
累 計		1,620,000	1,248,105	371,895			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。(政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など)

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の用途項目を記載する。(次の番号の記載でも可) (①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費)

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.10.3	146		400	371,495	駐車場代	①	
6.10.3	147		3,030	368,465	水道代	⑨	
6.10.5	148		1,899	366,566	ガソリン代	⑦	
6.10.7	149		5,063	361,503	本代	⑥	
6.10.8	150		1,150	360,353	乗車券代	①	
6.10.8	151		13,000	347,353	宿泊代	①	
6.10.9	152		1,680	345,673	特急券代	①	
6.10.9	153		830	344,843	バス代	①	
6.10.9	154		910	343,933	タクシー代	①	
6.10.9	155		1,680	342,253	特急券代	①	
6.10.9	156		720	341,533	入館料	①	
6.10.9	157		15,000	326,533	行政視察代	①	
6.10.10		810,000		1,136,533	政務活動費		
6.10.10	158		600	1,135,933	タクシー代	①	
6.10.10	159		7,500	1,128,433	宿泊代	①	
6.10.10	160		1,110	1,127,323	書籍代	⑥	
6.10.10	161		1,200	1,126,123	入館料	①	
6.10.11	162		1,950	1,124,173	バス代	①	
6.10.15	163		1,339	1,122,834	ガソリン代	⑦	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
6.10.15	164		1,800	1,121,034	視察先謝礼品	①	
6.10.15	165		5,500	1,115,534	宿泊代	①	
6.10.21	166		38,175	1,077,359	事務所賃料	⑨	
6.10.21	167		4,203	1,073,156	光熱水費	⑨	
6.10.21	168		24,160	1,048,996	乗車券代	②	
6.10.22	169		3,279	1,045,717	ガソリン代	⑦	
6.10.25	170		6,233	1,039,484	固定電話代	⑨	
6.10.28	171		17,846	1,021,638	携帯電話代	⑨	
6.10.28	172		1,895	1,019,743	ガソリン代	⑦	
6.10.28	173		4,900	1,014,843	新聞購読代	⑥	
6.10.29	174		11,100	1,003,743	宿泊代	②	
6.10.29	175		10,000	993,743	研修会参加費	②	
月 計		810,000	188,152	621,848			
累 計		2,430,000	1,436,257	993,743			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.11.11	177		750	992,993	駐車台	⑦	
6.11.11	178		1,788	991,205	ガソリン代	⑦	
6.11.11	178-2		28,940	962,265	航空券代	①	
6.11.14	179		12,080	950,185	乗車券代	①	
6.11.14	180		24,160	926,025	乗車券代	①	
6.11.14	181		15,220	910,805	乗車券代	①	
6.11.14	181-2		24,140	886,665	航空券代	①	
6.11.19	182		7,000	879,665	宿泊代	①	
6.11.20	183		900	878,765	タクシー代	①	
6.11.20	184		1,610	877,155	乗車券代	①	
6.11.20	185		1,170	875,985	乗車券代	①	
6.11.20	186		299	875,686	視察時給食費	①	
6.11.20	187		1,000	874,686	タクシー代	①	
6.11.20	188		7,500	867,186	宿泊代	①	
6.11.20	189		38,175	829,011	事務所賃料	⑨	
6.11.21	190		200	828,811	入場券	①	
6.11.21	191		1,060	827,751	タクシー代	①	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.11.21	192		1,160	826,591	タクシー代	①	
6.11.21	194		1,565	825,026	ガソリン代	⑦	
6.11.21	195		3,353	821,673	光熱水費	⑨	
6.11.25	196		10,000	811,673	宿泊代	①	
6.11.26	197		25,080	786,593	事業活動総合保険	⑨	
6.11.26	198		18,465	768,128	携帯電話代	⑨	
6.11.29	199		16,100	752,028	宿泊代	①	
6.11.30	200		1,600	750,428	タクシー代	①	
6.11.30	201		4,900	745,528	新聞購読代	⑥	
月 計		0	248,215	-248,215			
累 計		2,430,000	1,684,472	745,528			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.12.2	202		1,278	744,250	ガソリン代	⑦	
6.12.2	203		1,000	743,250	おおさかヒューマンライツ自治体議員の会 参加費	②	
6.12.3	204		2,889	740,361	水道代	⑧	
6.12.6	205		2,069	738,292	ガソリン代	⑦	
6.12.8	206		1,500	736,792	書籍代	⑥	
6.12.8	207		1,778	735,014	ガソリン代	⑦	
6.12.10	208		24,160	710,854	乗車券代	⑧	
6.12.10	209		12,200	698,654	宿泊代	⑧	
6.12.17	210		3,099	695,555	光熱水費	⑧	
6.12.18	211		1,922	693,633	ガソリン代	⑦	
6.12.19	212		28,687	664,946	換気扇代	⑧	
6.12.20	213		38,175	626,771	事務所賃料	⑧	
6.12.20	214		1,730	625,041	ガソリン代	⑦	
6.12.21	215		4,900	620,141	新聞購読料	⑥	
6.12.21	216		2,000	618,141	講座参加費	②	
6.12.24	217		1,371	616,770	ガソリン代	⑦	
6.12.26	218		315,067	301,703	市政報告印刷代	⑦	
6.12.26	219		17,662	284,041	携帯電話代	⑧	
6.12.27	220		2,133	281,908	ガソリン代	⑦	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。(政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など)

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。(次の番号の記載でも可) (①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費)

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
6.12.29	220-2		10,170	271,738	航空券代	①	
6.12.29	220-3		11,370	260,368	航空券代	①	
月 計		0	485,160	-485,160			
累 計		2,430,000	2,169,632	260,368			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
7.1.7	221		30,020	230,348	乗車券代	①	
7.1.9	222		3,854	226,494	ガソリン代	⑦	
7.1.10		810,000		1,036,494	政務活動費		
7.1.10	223		319,241	717,253	郵便代	⑦	
7.1.10	224		14,107	703,146	郵便代	⑦	
7.1.14	225		5,453	697,693	社会新報購読料	⑥	
7.1.15	226		17,737	679,956	携帯電話代	⑨	
7.1.18	227		1,982	677,974	ガソリン代	⑦	
7.1.19	228		6,000	671,974	宿泊代	①	
7.1.20	229		38,175	633,799	事務所賃料	⑨	
7.1.20	230		1,000	632,799	視察代	①	
7.1.22	231		9,000	623,799	宿泊代	①	
7.1.25	232		4,900	618,899	新聞購読代	⑥	
7.1.28	233		18,000	600,899	宿泊代	②	
7.1.29	234		2,883	598,016	ガソリン代	⑦	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
7.1.30	235		2,142	595,874	電気・ガス料金	⑨	
7.1.30	236		2,747	593,127	水道代	⑨	
月 計		810,000	477,241	332,759			
累 計		3,240,000	2,646,873	593,127			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
7.2.1.	237		100	593,027	駐車場代	⑦	
7.2.2.	238		1,000	592,027	研修参加費	①	
7.2.3	239		4,000	588,027	フィールドワーク参加費	②	
7.2.3	240		15,000	573,027	研修参加費	②	
7.2.3	241		235,290	337,737	ホスティング代	⑦	
7.2.6	242		1,778	335,959	ガソリン代	⑦	
7.2.10	243		1,075	334,884	ガソリン代	⑦	
7.2.15	244		19,116	315,768	携帯電話代	⑨	
7.2.17	245		7,652	308,116	自治体学会年会費	②	
7.2.19	246		1,864	306,252	ガソリン代	⑦	
7.2.20	247		38,175	268,077	事務所家賃	⑨	
7.2.20	248		3,162	264,915	ガス電気代	⑨	
7.2.22	249		30,300	234,615	宿泊代	①	
7.2.23	250		1,284	233,331	ガソリン代	⑦	
7.2.25	251		6,351	226,980	固定電話代	⑨	
7.2.28	252		4,900	222,080	新聞購読代	⑥	
月 計		0	371,047	-371,047			
累 計		3,240,000	3,017,920	222,080			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
7.3.2	253		1,273	220,807	ガソリン代	⑦	
7.3.4	254		15,277	205,530	SPSSハンズオン	②	
7.3.6	255		24,160	181,370	乗車券代	①	
7.3.6	256		28,200	153,170	宿泊代	①	
7.3.7	257		3,000	150,170	見学代	①	
7.3.7	258		2,000	148,170	資料購入代	⑥	
7.3.7	259		1,000	147,170	資料購入代	⑥	
7.3.9	260		1,873	145,297	ガソリン代	⑦	
7.3.14	261		10,640	134,657	乗車券代	①	
7.3.14	262		1,500	133,157	タクシー代	①	
7.3.14	263		7,150	126,007	宿泊代	①	
7.3.14	264		1,600	124,407	タクシー代	①	
7.3.15	265		17,703	106,704	携帯電話代	⑨	
7.3.17	266		120	106,584	駐車場代	②	

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
7.3.19	267		24,160	82,424	乗車券代	①	
7.3.19	268		25,000	57,424	宿泊代	①	
7.3.21	270		38,175	19,249	事務所賃料	⑨	
7.3.21	271		2,857	16,392	ガソリン代	⑦	
7.3.22	272		1,050	15,342	乗車券代	①	
7.3.23	273		4,900	10,442	新聞購読代	⑥	
7.3.24	274		2,042	8,400	ガソリン代	⑦	
7.3.28	275		2,889	5,511	水道代	⑨	
月 計		0	216,569	-216,569			
累 計		3,240,000	3,234,489	5,511			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

事務所（使用）状況報告書

会派の名称・議員氏名

小堀 清次

管理責任者 (議員名)	小堀 清次		
事務所名	小堀セイジ事務所		
所在地	〒590-0117 堺市南区高倉台 2-19-17		
兼用の有無	TEL 072 (292) 8619		
	☐ 自宅兼事務所 ☒ 専用事務所 (賃貸借契約先 <u>高倉寺自治会</u>)		
	他用途との兼用 ☒ 有 ⇒ ☐ 無	☒ 私的使用	
		☐ 後援会事務所	
		☐ 政党活動事務所	
☐ 会社等 (関係団体)			
延べ面積	69.4 m ²	賃借料	月額 50,900 円 (政務活動費充当額 38,175 円)
政務活動事務所 として使用する 割合	75 %	(次のいずれかの説明方法を選択) ☒ 使用面積による 使用面積 53 m ² /延べ面積 (m ²) ☐ 使用時間による 月 時間のうち 時間	
事務所関連経費 按分比率など	維持管理 経費	☒ 電気代・・・75% ☒ 水道代・・・75% ☒ ガス代・・・75% ☒ 固定電話代・・・75% ☒ その他 (<u>携帯電話</u>)・・・75%	
	駐車場 賃借料	%	月額 円 (政務活動費充当額 円)
	【所在地】		
所有区分	☐ 生計を一にしない親族 ☒ 第三者 ☐ その他 () ※議員と貸主の関係は、生計を一にしていないことを条件とする。		
備 考	元年10月～ 50,900円 (消費税2%3.7%により) $50,000円 \times \frac{100}{108} = 46,296円$ $46,296円 \times \frac{110}{100} = 50,925円 \rightarrow 50,900円$		

※事務所・駐車場を賃借する場合は、賃貸借契約書またはそれに代わる書類の写しを併せて提出すること。

賃貸人 高蔵寺自治会（以下甲）と 賃借人 小堀清次（以下乙）の甲乙間において、次の通り契約を締結した。

第 1 条

甲はその所有する下記に表示する建物を乙に賃貸し、乙はこれを賃借することを約した。

1. 建物所在：堺市南区高倉台二丁十九番十七号
2. 種類：事務所
3. 構造：鉄骨造ストレート葺き階段建
4. 床面：69.4 m²

第 2 条

令和元年七月一日から令和三年六月三十日までの三年間、甲はその所有する建物を乙に賃貸し、乙はこれを賃借する。ただし、甲乙の双方どちらかの申し出がない限り、本契約は自動更新するものとする。

第 3 条

賃料は、毎月 金 五万円也とし、乙は毎月末日までにその翌月分を甲の指定する銀行口座に振り込んで支払うものとする。また、1ヵ月に満たない月の賃料は、日割計算とする。ただし、賃料が経済事情の変動、公租公課の増額、近隣の賃料との比較などにより不相当となったときは、甲乙間で協議の上、賃料の増減をすることができる。

第 4 条

乙は、建物を事務所の目的で使用する。

第 5 条

乙は次の場合には、事前に甲の書面による承諾を受けなければならない。

1. 建物の模様替え、または造作その他の工作をするとき。
2. 賃借権の譲渡若しくは転貸またはこれらに準ずる行為をするとき。
3. 使用目的を変更するとき

第6条

乙が次の場合の1つに該当したとき、賃貸人は、催告をしないで直ちに本契約を解除することができるものとする。

1. 賃料の支払いを 弐ヶ月以上怠ったとき。
2. 賃料の支払いをしばしば遅延し、その遅延が本契約における賃貸人と賃借人との間の信頼関係を害すると認められるとき。
3. 本契約6条その他本契約に違反したとき。

第7条

乙は甲に対し 壹ヶ月の予告をもって本契約の解約を申し入れることができる。但し、乙は予告に代え 壹ヶ月分相当の賃料相当額を甲に支払い、即時に解約することができる。

第8条

甲は建物に関する公租公課を負担し、乙は電気、水道、ガス等の使用料を負担する。

第9条

本契約に関する紛争に付いては、甲の居住地の裁判所を第一審の管轄裁判所とする。

第10条

乙は、本契約が終了したときは、甲と協議のうえ定めた期日までに自己の所有又は保管する物件すべてを自己の費用で収去し、本件建物を原状に復したうえ甲の立会いのもと、甲に明け渡すものとする。

2. 乙は前項の場合において、移転料、立退料その他これに類するものを甲に請求してはならない。

第11条

甲及び乙は、信義に基づき本契約を履行するものとし、本契約各条項に定めない事項が生じたとき又は本契約の条項の解釈に疑義が生じた

ときは、誠意をもってこれを協議解決するものとする。

上記の通り契約が成立したので、本契約書2通を作成し、各自押印の上
各1通を保管するものとする。

令和元 年 6 月 27 日

賃貸人（甲）

住所 堺市 高 2-14-14

高 利 金 貸 出 会

氏名 会長

賃借人（乙）

住所 堺市

氏名 小堀清次

出張報告書

R6 年5月 / 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・先進的な多様な暮らしの場の視察

2. 期 間 2024 年 4 月 9 日 (火)

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先 (都市・施設名等)
①	4 月 9 日 (火)	15:00~17:00	鹿児島市・ナガヤタワー
②			
③			
④			

4. 面談者

株式会社 THEM 社会福祉士 [REDACTED] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

昔ながらの長屋（横に連なる家々）を縦型（ビル）にし、学生、高齢者、小規模児童養護施設などが混在することで、多世代交流を促進する「ケア」の視点をもった住宅を視察した。運営は、株式会社が担っており、管理運営のコストについての理解を入居者に求める点は必要であるが、均一世代を呼び込んできたかつての団地政策に一石を投じる思想に基づいた建築物であり、今後の泉北ニュータウンの跡地活用を考える上でも多いに参考にすべきであるとする。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

2.3.4

出張報告書

26 年 5 月 / 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

・希望のまちプロジェクトの進捗確認

2. 期 間 2024 年 4 月 12 日 (金)

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先 (都市・施設名等)
①	4 月 12 日 (金)	13:00~17:00	北九州市・NPO 法人抱撲
②			
③			
④			

4. 面談者

認定 NPO 法人 抱撲 広報・渉外事業部 部長 XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

元暴力団事務所の跡地を取得し、救護施設を柱とすることも、高齢者、障害者などの居場所を整備する巨大プロジェクトの進捗についてヒアリングを行った。

暴力団事務所はすでに取り壊されているが、物価高騰などにより、新施設建設の目処は立っていないが、跡地にプレハブを建て、地域住民が近寄りやすい雰囲気づくりに取り組み、様々な交流イベントなどを行い、機運情勢に努めていることに大いに感心した。

旧高倉台西小学校跡地についても、跡地活用プロジェクトの頓挫により空き地と化している残地を活用し、機運情勢を行っていく必要性を実感した。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

502,8

出張報告書

26 年 7 月 / 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・令和6年沖縄全戦没者追悼式に出席

2. 期 間

2024 年 6 月 22 日（土）～ 6 月 24 日（月）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	6 月 23 日（日）	11:50～0:40	沖縄県・平和祈念公園
②	6 月 24 日（月）	10:00～12:00	沖縄県・那覇市歴史博物館
③			
④			

4. 主催者

沖縄県知事 玉城デニー 氏

参加者

内閣総理大臣 岸田 文雄 氏 他

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

沖縄全戦没者追悼式に出席した。

来年の終戦から 80 年を控え、本市での追悼のあり方を検討する上で大きな学びとなった。

那覇市歴史博物館では、慰霊の日に合わせた基礎自治体の博物館としての企画展示を見学し、来年の本市博物館等での展示のあり方を考える上で大いに参考になった。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

23.48

- 参考様式第4号

出張報告書

R6年7月/日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的

- ・「先を読むチカラ」講演会への参加

2. 期間

2024年 6月 10日（月）

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	6月 10日（月）	10:00～12:00	北九州市・NPO 法人抱樸
②		15:00～17:00	北九州市・毎日西部会館
③			
④			

4. 登壇者

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 XXXXXXXXXX 氏

NPO 法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

午前中は、救護施設などを視察した。午後は、重層的支援体制整備事業について国の考えを伺った。厚生労働省は、本制度を地域の資源や実情に合わせてカスタマイズ『魔改造』することを求めるとの発言もあった。本市でも、孤独・孤立対策の観点から、資源の掘り起こしを始めていかなければ画餅になる可能性があることを気付かされた。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

34、35、38、39

出張報告書

26 年 7 月 / 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・日本地域福祉学会に参加

2. 期 間

2024 年 6 月 15 日（土）～ 6 月 16 日（日）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	6 月 15 日（土）	10:00～17:00	東京都・文京学院大学
②	6 月 16 日（日）	10:00～17:00	同上
③			
④			

4. 登壇者

中央大学 教授 [REDACTED] 氏

同志社大学 教授 [REDACTED] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

地域福祉を進めていく上で、多様な取り組みを実践あるいは研究している者が一堂に会し、発表し、議論することで、新たな気づきや知見を深められることから参加した。議員としても、社会福祉審議会地域福祉分科会委員としても、大きな学びの機会となった。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

36、37、41、42

出張報告書

令和6年 8月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・併設型支援学校の整備状況についての調査
- ・静態保存鉄道車両の保存状況についての調査
- ・歴史を活かしたまちづくりの調査

2. 期 間

令和6年 7月 1日（月）～

6年 7月 3日（水）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	7月1日（月）	17:00～18:00	新居浜市内
②	7月2日（火）	10:00～12:00	愛媛県立新居浜特別支援学校みしま分校
③	7月2日（火）	15:00～17:00	四国鉄道文化館・十河信二記念館
④	7月3日（水）	9:00～11:00	坂の上の雲ミュージアム

4. 面談者

前愛媛県議会議員 ■■■■■ 氏

愛媛県立新居浜支援学校 校長 ■■■■■ 氏

四国鉄道文化館・十河信二記念館 館長 ■■■■■ 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

新居浜支援学校は、県所有の保健所を改修し、支援学校として開校したため、狭隘かつ支援教育に十分必要な教室数や施設の確保が厳しかった。また、四国中央市からではスクールバスで概ね1時間の移動を強いられることから、児童生徒への負担は極めて強く、地元市長の強いリーダーシップの下、市立小学校に併設計画を市から県に働きかけ、実現した。同一敷地内に立地することから、児童の交流が進んでおり、インクルーシブ教育がなされていると実感した。また、市長自ら地元警察署長に働きかけ、スクールバス停車場を確保したことは特筆すべきことであり、支援学校の整備には、教育委員会のみに任せるのではなく、首長がリーダーシップを発揮する必要性を実感した。

歴史的に貴重な静態保存鉄道車両は、屋内で保存する必要性がある旨、改めて確認した。また、屋外展示車両については、10年単位で再塗装などを進める必要性があり、地元鉄道会社（ここではJR四国）の協力が不可欠であるとの助言を得た。本市所有の車両は屋外展示であり、設置後一度も再塗装などはなされていない。今後腐食が進む可能性を示唆された。

歴史を発信する博物館は史実を基に展示を行うが、全国的にも珍しい、小説を基にした博物館は、歴史的裏付けが乏しいものであっても、そこにドラマがあれば、魅せ方の工夫で来訪者を確保できることを確認した。文書資料が乏しい古墳時代についても、雄大なドラマを背景に展示等を工夫することでさらなる誘客の可能性を示唆された。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

52, 54, 55, 56, 57, 58, 60

27-2

出張報告書

令和6年 8月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

コミュニティ政策学会名張大会への参加

2. 期 間

令和6年 7月 6日(土)～

令和6年 7月 7日(日)

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先(都市・施設名等)
①	7月6日(土)	13:00～17:00	名張青少年センター「ads ホール」、名張市民センタ
②	7月7日(日)	9:00～12:30	名張青少年センター「ads ホール」、名張市民センタ
③	月 日	～	
④	月 日	～	

4. 面談者

特になし

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

地域コミュニティの弱体化が叫ばれる中、地域コミュニティ政策学会に会員として最新のコミュニティ政策の情報収集に努めており、本学会の大会が開催された事から、参加し、全国的な地域コミュニティの強化策についての先進事例の情報収集に努めた。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

62、63、64、65、66

出張報告書

令和6年8月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・地域移動支援の取り組みについての調査
- ・土砂災害の被害状況の視察
- ・eスポーツを活用した介護予防の可能性についての調査
- ・保育士の処遇改善についてのヒアリング
- ・SMI 都心ラインの補助金不交付についてのヒアリング
- ・重層的支援整備体制事業について

2. 期 間 令和6年 7月 8日（月）～ 令和6年 7月12日（金）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	7月9日（火）	10:00～12:00	東伊豆町役場
②	7月9日（火）	15:00～17:00	伊豆山（熱海市）
③	7月10日（水）	14:00～16:00	島田市役所、島田市民総合施設プラザおおるり
④	7月11日（木）	13:00～17:00	衆議院議員会館
⑤	7月12日（金）	14:00～17:00	足立区役所

4. 面談者

東伊豆町規格調整課政策推進係 係長 [REDACTED] 氏

東伊豆町規格調整課政策推進係 主任主事 [REDACTED] 氏

伊豆山神社 宮司 [REDACTED] 氏

島田市役所健康福祉部包括ケア推進課 課長 [REDACTED] 氏

島田市役所健康福祉部包括ケア推進課 地域支援係長 [REDACTED] 氏

こども家庭庁成育局保育政策課工程価格担当室 室長 [REDACTED] 氏

国土交通省物流・自動車局自動運転戦略室 [REDACTED] 氏

国土交通省物流・自動車局技術・環境政策課 専門官 [REDACTED] 氏

足立区福祉部福祉まると相談課長 [REDACTED] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

マイカー乗り合い公共交通サービス「ノックアルヒがしいず」の実態把握を行うため、ヒアリングを行った。全国的に注目を集めるサービスではあるが、運転手確保が課題であるなど、境での実現性は極めて乏しいと実感した。また、ライドシェアの弊害を併せ持っている事も指摘しておきたい。

熱海市伊豆山土石流災害現場を視察した。土砂災害警戒区域を多く抱える南区選出議員として、残土持ち込みに対する規制の必要性を実感した。

高齢者にeスポーツは馴染まないのでは無いかと考えていたが、意外に他人同士のコミュニケーションが促進され、座って簡単な動作でダイナミックな動きを体感できることから、意外に好評であった。フィジカルフレイル予防の効果は未知数であるが、コミュニケーション促進ツールとして活用していく必要性を感じた。

こども家庭庁から、地域区分の見直しを検討している旨を確認したが、未だ埋まらない大阪市と堺市との格差を埋めるよう求めた。

国土交通省からは、堺市の案は国が想定しているレベル4の実証実験の年限をオーバーしていることが不採択の大きな要因である旨の説明を受けた。

足立区では、重層的支援整備体制を推進していくための部署を設置し、担当課長を配置している。また、別庁舎にて、関係する機能をワンストップで整備している点が秀逸である。他職種連携の難しさが叫ばれるが、ワンストップにすることで連携が促進する副次効果も特筆すべきである。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

53, 68, 69, 70, 71, 72

出張報告書

令和6年 9月 1日

会派の名称・議員氏名

小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・浦安市における、支援学校誘致の取り組みについての調査

2. 期 間 令和6年 7月 17日（水）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	7月17日（水）	10:00～12:00	浦安駅バスロータリー視察
②	7月17日（水）	13:30～15:30	浦安市役所
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

浦安市教育総務部教育政策課教育政策係 係長 [REDACTED] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

他都市からの来訪者が極めて多く、テーマパークの最寄駅と勘違いする来訪者が多いことから、当該駅からテーマパークまでのバス交通での案内方法を多言語かつ ICT を活用し、バス乗り換えを容易にしていることは、来訪者が世界遺産を訪れようとするとき、交通網が複雑な本市においても見習うべきである。

また、浦安市は県立支援学校がなく、市民から整備の要望の声が高いことから、市立学校の統合により余剰地を生み出し、県立支援学校誘致を進めようとする姿勢は評価できる。本件も、市長部局が積極的に関与したことから動いた事を確認した。本市も、市長部局の積極的な関与が求められる。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

74

出張報告書

令和6年 8月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・世界遺産を活かした観光誘客についての調査
- ・LRTの敷設によるまちづくりについての調査
- ・世界遺産のゲートウェイ（玄関駅）の視察

2. 期 間 令和6年 7月24日（水）～ 令和6年 7月27日（土）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	7月25日（木）	10:00～16:00	旧富岡製糸場
②	7月26日（金）	13:00～17:00	宇都宮ライトレール本社ほか
③	7月27日（土）	9:00～10:15	東武日光駅、JR日光駅
④	月 （ ）	～	

4. 面談者

富岡市 世界遺産観光部観光交流課 課長 [REDACTED] 氏

宇都宮市 建設部 LRT整備部 整備グループ 係長 [REDACTED] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

日本最古の近代工場である旧富岡製糸場を活かした展示を見学した。秀逸であった点は、堺同様、観光ガイドボランティアであったが、Bluetooth を活用して、有料参加者のみがガイドランスを聞ける仕掛けはよく練られており、遺産保全に充てられており、仕組みとしてよくできている。また、誘客のため、修学旅行などを誘致するため、旅行会社等にインセンティブを与える取り組みも、公としてはなかなか出てこないアイデアであると思う。本市も、民間の立場に立った誘客策を講じる必要性を感じた。

長年の議論を経て、LRT 敷設を行った宇都宮市の英断には敬意を表したい。とりわけ、市長の「公共交通は黒字でなければならないものではない」との考えが市職員に浸透しており、それが地元住民への説明会にも奏功した。また、小学生などを対象にした説明会なども実施し、その結果、保護者は反対して小学生が開業を心待ちにするなどの機運醸成に繋がった。

路線敷設に協力的な地域を優先して、路線を敷設した結果、今や反対意見の多い地域にも延伸の聲が高まっている。本市も住民への丁寧な説明を重視する必要性が高まっていると考える。外国人来訪者が多い世界遺産のエントランスに相応しい駅舎を整備することで、日光へ到着したという「ワクワク」する気持ちを掻き立てる駅舎デザインの重要性を確認した。本市も、百舌鳥駅や御陵前電停の整備を鉄道事業者との協議を進めるべきである。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

80, 82, 83, 85, 86, 87, 88, 89, 92

出張報告書

令和6年 9月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

・だいかい文庫の視察

2. 期 間 令和6年 7月30日（火）～ 令和6年 7月31日（水）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	7月30日（火）	19:00～20:00	だいかい文庫（豊岡市）
②	月 日 ()	～	
③	月 日 ()	～	
④	月 日 ()	～	

4. 面談者

医師 XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

社会的処方の実践者である■■■■医師を訪問し、地域での居場所の必要性を再確認した。当該文庫は、私設図書館であり、各書棚をオーナーが所有し、その賃料などで運営費を捻出し、医師をはじめ、リンクワーカー（英国で言うところの）に相当する役割を担う人が、近隣住民の憩いや居場所を提供していた。

商店街の空き店舗を活用しているとはいえ、家賃は決して安くはなく、持ち出しも多いと確認した。カリスマドクターが故にできている事業であるが、地域包括ケアセンターの分室としての役割を附置するなど、堺でも実践できる可能性はあると考えられる。「誰一人取り残さない」をスローガンにするも、スローガン倒れに終わるのではなく、着実な施策推進を求めている。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

79,94,95

出張報告書

令和6年 9月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・広島・長崎での平和式典に参列
- ・「通いの場」の参加者増への取り組みについての調査
- ・こどもの居場所整備についての調査

2. 期 間 令和6年 8月 5日（月）～ 令和6年 8月 10日（土）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	8月 6日（火）	7:00～12:00	平和記念式典（広島市）
②	8月 7日（水）	13:00～15:00	大分市役所
③	8月 8日（木）	13:30～15:30	福岡市役所
④	8月 9日（金）	9:00～13:00	平和祈念式典（長崎市）
⑤	8月 10日（土）	12:00～17:30	ボランティア活動（北九州市内）
⑥	8月 10日（土）	17:30～19:30	夏まつり（北九州市内）

⑦	8月10日(土)	19:30～24:00	夜廻(北九州市内)
---	----------	-------------	-----------

4. 面談者

大分市 福祉健康部 長寿福祉課 [redacted] 氏

大分市 福祉健康部 長寿福祉課 地域支援担当班 保健師 [redacted] 氏

大分市 福祉健康部 長寿福祉課 地域支援担当班 [redacted] 氏

福岡市子ども未来局子ども健やか部子ども見守り支援課 課長 [redacted] 氏

福岡市子ども未来局子ども政策部子ども健全育成課 課長 [redacted] 氏

NPO 法人 放撲 理事長 奥田 知志 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

広島、長崎で平和式典に参加。戦後 80 年を来年に控え、本市での平和への取り組みの強化の必要性を改めて実感した。

大分市では、全国一「通いの場」への参加率が高い大分県の県都を訪問し、その要因分析を調査した。その結果、人と人との顔の見える関係性が大きな影響を与えている可能性を示唆された。ソーシャル・キャピタル醸成策無くして、「通いの場」への参加率の向上は無いのではないかと考える。

福岡市では、こどもの居場所づくり事業についてヒアリングを行った。堺市は、初度調弁の費用は負担するも、ランニングコストを負担していないことから、福岡市のような、取り組みへの盛り上がりには欠ける。本市は居場所の必要性を認識し、事業費負担を行うことを求めたい。北九州市では、ホームレス支援を担っている NPO と活動を共にし、社会的孤独・孤立対策の必要性を体感した。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

101、102、103、104、105、106、107、108、109

出張報告書

令和6年 9月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・第16回全国政策研究集会 2024in 大分に参加
- ・第19回日本モビリティ・マネジメント会議に参加

2. 期 間 令和6年 8月22日（木）～ 令和6年 8月25日（日）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	8月23日（金）	12:50～17:40	コンパルホール（大分市）
②	8月24日（土）	10:00～18:00	フェニックス・プラザ（福井市）
③	8月25日（日）	9:00～17:00	フェニックス・プラザ（福井市）
④	月 日 ()	～	

4. 面談者

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

第16回全国政策研究集会 2024in 大分、第19回日本モビリティ・マネジメント会議に参加し、地方自治の最新の知見を得ると共に、モビリティ・マネジメント、とりわけ本市の乗り合いタクシーのサービス向上に資する情報収集に努めた。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

115, 116, 117, 119, 120, 121

84.

出張報告書

令和6年10月1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的

- ・自動運転レベル4の実態調査
- ・歴史文化資産を活かした回遊性のまちづくりについての調査

2. 期間 令和6年 9月15日（日）～ 令和6年 9月18日（水）

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	9月16日（月）	10:00～15:00	ZEN drive(永平寺町)
②	9月17日（火）	10:00～17:00	金沢市内
③	月 日 ()	～	
④	月 日 ()	～	

4. 面談者

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

本自動運転実証実験は、旧廃線跡地を活用した専用道路を利用して実施していることから、レベル4の実証運転が可能なものであり、他の交通モードと輻輳する本市の大小路での実証は極めて困難な印象を受けた。また、少しの障害（木の枝等）等を感知するだけで車両が停車するなど、定時定速走行には極めて現段階では不向きであるとの概観を得た。

また、金沢市内では、公共交通機関は利用せず、地図を持たず、歩いて、いしかわ生活工芸ミュージアム、武家屋敷跡野村家、加賀友禅会館、兼六園、金沢 21 世紀美術館を訪れたが、サインは見にくく、迷うことこの上なく、観光案内所では、どこの施設がいつまで開館しているかなどが全く把握されておらず、呈茶の予約も受け付けず、結果的に飲めず、おもてなしの心を感じる事ができなかった。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

129, 134, 135, 136, 137

出張報告書

2024年 11月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

: 財政破綻の実情について

: 民族共生について

2. 期 間 2024年 10月 8日(火) ～ 2024年 10月 11日(金)

3. 日 程 等

月 日		時 刻	出張先(都市・施設名等)
①	10月 9日(水)	10:30～14:30	夕張市・石炭の歴史村等
②	10月 9日(水)	15:00～16:00	夕張市役所
③	10月 10日(木)	12:30～17:00	ウポポイ民族共生象徴空間・白老町
④		～	

4. 面談者

夕張市議会 副議長 君島 孝夫 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

夕張市

目的：

財政破綻に陥った状況と現状についてヒアリングを行うと共に、まち歩きを通じて、破綻のまちの実情を確認する事

内容：

財政破綻の影響により、再編整備後の旧小学校、病院などは用途廃止後も取り壊しがなされていない。また、炭坑閉山後、観光業にシフトすることをめざして開業された旧ホテル2棟は外観からも現状のまま利用できそうな佇まいであるが、後継運営事業者も見つからず放置されている。また、市役所横の旧市民会館すらも倒壊の恐れもあるが、事業の優先順位から放置されている。

JRの廃線にと引き換えに市が得た資金により、図書館の整備に充てられており、まちにおける図書館の重要性を再確認するも、軌道交通の廃止は、駅前の衰退を招いている事も確認された。財政破綻に陥った理由は、不適切な財務会計処理による赤字表面化の回避と赤字の拡大が言われているが、金融機関からの一部借入がなされた理由など、まだまだ解明されるべき点が見受けられた。

考察：

財政危機を煽る言葉として「夕張の二の舞」などと揶揄されることがあるが、炭坑のまちが基幹産業を失い、産業の転換を図ることができないまま、人口減少に突入した事例であり、通常の地方公共団体の会計と伍して論じることは極めて無理があると思料される。

白老町ウポポイ民族共生象徴空間

目的：

民族共生象徴空間の視察

内容：

誤った「単一民族論」が平然と語られる時代にオープンした民族共生象徴空間を視察した。アイヌは文字を持たない民族であったことから、文献等が残っておらず、悠久のアイヌ民族の歴史を展示のみから学びとることは非常に難しいと感じた。しかし、象徴空間という様に、さまざまな体験活動などを通じ、時間をとって学ぶことでおぼろげながらアイヌの歴史をうかがい知る事ができた。

考察：

民族共生の学びを広げていく事は極めて重要であるが、展示のみでの難しさを再確認した。本市でも、人権教育の際には、口承や体験を通じた学びの機会を提供していく必要があると考える。また、次の機会には、二風谷にも立ち寄り、更なる学びを得たいと思う。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

143、150、151、152、153、154、155、156、157
158、159、161、162

出張報告書

2024年 11月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的

：大学医学部が地域に出向き健康寿命の延伸に取り組む意義について

2. 期間 2024年 10月 15日（火）～ 2024年 10月 16日（水）

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	10月 15日（火）	13:30～15:00	宮崎大学医学部キャンパス見学
②	10月 15日（火）	15:00～16:30	宮崎大学医学部機能制御学講座
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

宮崎大学医学部 XXXXXXXXXX 教授

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

目的：

医師の養成と研究を主たる目的とする医学部が地域に出向き、健康づくりを啓発する意義の調査

内容：

大学医学部が期待されている役割を超え、医師である大学教員が、「みやざき健康キャラバン隊」を組織し、休日などに地域に出向き、専門職だからこそ伝えられる予防の重要性や健康寿命の延伸に資する生活習慣の見直しについて説くことで県民意識の向上を図っている。

考察：

キャラバン隊の主たるリーダーである渡邊教授は、心臓病の権威であるが、専門性にとらわれることなく、県民である一人のドクターとして、専門性は横におきつつ、県民に寄り添うことで、専門家の専門性を発揮することができていると考えられる。

大学医学部の果たすべき役割は大きく変わりつつあると思料される。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

165

出張報告書

2024年 11月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

：地方議員が果たすべき自殺対策への取り組みについて

2. 期 間

2024年 10月 29日（火）～

2024年 10月 30日（水）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	10月29日（火）	10:00～21:00	NPO 法人ライフリンク（東京都千代田区）
②	月 日（ ）	～	
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク 代表 清水 康之 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

目的：

NPO 法人ライフリンクが実施した自治体議員向け自殺対策研究会に参加し新たな知見を得る

内容：

全国の多くの自治体では、自殺対策の計画が未策定であるが、堺市はかつて熱心な担当者があり、自殺対策の計画は策定から早 15 年近くが経っている。しかし、内容はアップデートされず、こどもの自殺対策であればオンライン空間を活用するや、全国どこからでも相談に乗れる体制の周知などが十分に行き届いていないことを再確認した。

考察：

堺市の自殺対策をアップデートすると共に、ライフリンクとの連携協定締結の必要性を実感した。今後、議会での議論を通じ、まずは児童、生徒用タブレット端末に「かくれてしまえばいいのです」を搭載することから求めていく。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

168、174、175

出張報告書

2024 年 12 月 1 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

: 町立学校と併設の支援学校の視察
: 鉄道車両の静態保存について

2. 期 間 2024 年 11 月 19 日 (火) ～ 2024 年 11 月 21 日 (木)

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先 (都市・施設名等)
①	11 月 20 日 (水)	10:00～15:00	十日町市立ふれあいの丘支援学校 (新潟県十日町)
②	11 月 21 日 (木)	13:00～15:00	新津鉄道資料館 (新潟市)
③	月 日 ()	～	
④	月 日 ()	～	

4. 面談者

十日町市立ふれあいの丘支援学校 校長 [] 氏

新津鉄道資料館 館長 [] 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

十日町市

目的：

市立小学校と市立支援学校（初等部、中等部）を同一キャンパス、同一校舎内に併設しているふれあいの丘支援学校を視察し、本市の支援学校整備の為の知見を得るため

内容：

少子化が進展する中、既存学校の存続と県立支援学校まで長時間のスクールバス移動を強いられている児童生徒の負担軽減を図るため、地元やPTAが発議し、同校が整備された。同校では、玄関こそ物理的に離れているものの、学校施設は全て原則共同使用されており、私の視察時には、両校の生徒が共に行き来し、給食も一緒に喫食していた。

考察：

インクルーシブ教育と大見得は切らずとも、児童生徒が自然と触れ合うことでお互いを特別扱いせず、共に育つ学舎が形成されていた。本市も案ずる前に、行動を起こし、真のインクルーシブ教育を進めていくよう引き続き長い道のりではあるが、求めていく。

新潟市

目的：

かつて交通の要所として栄えたまち「新津」のシンボルとして整備された博物館を訪問し、豪雪地帯における静態保存のあり方を調査する。

内容：

現在も、JR 東日本系列の鉄道車両製造工場が存在するまちとして、鉄道資料を大切に後世に伝えていこうとする気概を感じた。その最大の理由が、鉄道車両を覆い被せる形で整備されている屋根である。屋根のおかげで風雪の影響を受けず、鉄道車両の状態を良く保っている。

考察：

本市でも、ビッグバンの後背地に泉北高速鉄道初号機を保有しているが、今後の保存活用を考えていくと、屋根の整備は不可避であると考えられる。引き続き、屋根を整備するよう求めていく。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188
190, 191, 192, 198-2

出張報告書

2024 年 12 月 1 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

：「限界集落」の団地の現状視察

2. 期 間

2024 年 11 月 25 日（火）～ 2024 年 11 月 26 日（水）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	11 月 26 日（火）	10:00～12:00	戸山ハイツ・新宿区
②	11 月 26 日（火）	13:00～14:00	暮らしの保健室・新宿区
③	月 日（ ）	～	
④		～	

4. 面談者

暮らしの保健室 XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

目的：

高齢化率5割を超え「限界集落」に該当する団地「戸山ハイツ」の視察

内容：

日本最大級のニュータウンである泉北ニュータウンを擁する南区選出の議員として、高齢化が著しい団地が抱えている高齢者の社会的孤立への対策の必要性を感じてきた。戸山ハイツは戦後木造平屋建て団地が建設され、泉北と同時期の1960年代後半から70年代前半に建て替えが進められた。今も、一部分譲住宅が存在するものの、多くは老朽化が著しい都営住宅であり、若年層から選ばれる住宅とはなっていない。そうした中、暮らしの保健室が小さな困りごとなどに乗れる場として機能していた。

考察：

地域包括支援センターとは違い、暮らしの保健室は敷居が低く、住民が気軽に立つ寄れることから、小さな困りごとなどに乗れる場所として機能しているようであった。また、旧店舗（下駄履き）であることから、近接するスーパーへの動線上にもあり、買い物の行き来に立ち寄れる場であることから、暮らしの保健室は立地も重要であると思料された。今回の訪問を受けて、年明け、我が国の暮らしの保健室第一人者である秋山 正子氏から直接インタビューを実施できる運びとなった。次回のインタビューを行う上でも、フィールドを事前に見学できたことは非常に意義深いものとなった。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

179, 196

出張報告書

2024年 12月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的

：新宿区「在宅医療シンポジウム：望めば叶う在宅での看取り」に参加

2. 期間 2024年 11月 29日（金）～ 2024年 // 月 30日（土）

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	11月30日（土）	10:00～12:00	東京女子医科大学キャンパス見学
②	11月30日（土）	14:00～16:00	淵生記念講堂（東京都新宿区）
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

映画監督 XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

目的：

在宅医療の現実を知るため、新宿区主催のシンポジウムに参加した。

内容：

東京女子医大彌生講堂で行われたシンポジウムでは、老老介護の末、在宅で父親を看取った映画監督が登壇し、概要を述べた上、亡くなるまでの苦悩や困難そして喜びなどが、映像「あなたのおみとり」を通して紹介された。その後、訪問看護の権威である■■■■氏をコメンテーターに迎え、映像を見た感想やその背景について考察があり、在宅医療の現実を知ることができた。

考察：

在宅医療は家の中で行われていることから、経験者にしかわからないことが多いが、当事者が映画監督であったことから、全てを記録に残し、それを見ることで、私自身が追体験することができた。また、■■■■氏の解説がよりリアリティを増した。一朝一夕に在宅医療の環境整備が整うわけではないが、我が事として受け止めてもらう機会を提供している新宿区と東京女子医大の連携は大いに学ぶべきであると考えた。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

180.199 200

出張報告書

2025年1月11日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的

: 暮らしの保健室の視察

: 社会的処方勉強会に参加

2. 期間 2024年12月11日(火)～ 年 月 日()

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先(都市・施設名等)
①	12月11日(水)	10:00～12:00	暮らしの保健室(川崎市)
②	12月11日(水)	17:00～19:00	暮らしの保健室 スタジオ(川崎市)
③	月 日()	～	
④	月 日()	～	

4. 面談者

医師 XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

目的：

我が国の社会的処方の第一人者である医師 ■氏が開設している 暮らしの保健室を視察し、取り組みについてヒアリングを行った。また、同日予定されている社会的処方の勉強会には川崎市周辺で活躍しているコミュニティーナースの取り組み紹介があり、参加した。

内容：

誰もが気軽に相談できる場所を民設民営で用意することは容易ではない。財政的には非常に困難を伴うが、故に非常に居心地の良い場所が提供されていた。しかし、これは西氏がいればこそその取り組みであり、どこでもできる事ではない。しかし、コミュニティーナースの取り組みは、一人から始められるものでもあり、専門職の意識の持ちようで取り組める内容でもあった。

考察：

専門職がその専門性を持ちつつ、地域とつながる必要性を認識できるかが鍵であると考え。残念ながら、専門性があるが故に、専門性を発揮せんとし、地域とつながるといった元来求められている役割が疎かにされている現状は改善を促していかなければならないと思料される。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

208. 209

出張報告書

2025 年 3 月 1 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- : 暮らしの保健室を訪問しインタビュー
- : 郡山市の先進施策（DX 郡山推進計画、Z 世代活躍係）についての調査
- : 順天堂大学日本医学教育歴史館

2. 期 間 2025 年 1 月 20 日（月）～2025 年 1 月 23 日（木）

3. 日 程 等

月 日		時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	1 月 20 日（月）	10:00～13:00	暮らしの保健室・新宿区
②	1 月 22 日（水）	11:00～12:00	郡山市役所・郡山市
③	1 月 23 日（木）	10:00～12:00	順天堂大学日本医学教育歴史館・文京区
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

暮らしの保健室 室長 XXXXXXXXXX 氏

郡山市政策開発部 DX戦略課 課長補佐 XXXXXXXXXX

郡山市政策開発部 DX戦略課 DX戦略係長

郡山市政策開発部 政策開発課 Z世代活躍係長

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

新宿区

目的：氏から、暮らしの保健室開設に至った背景をインタビューする。

内容氏は、長年の訪問看護の経験から、気軽に相談できる場の必要性を感じてきた。また、訪英時に見た「マギーズ（がん患者やその家族が気軽に治療や日々の生活について相談できるイギリス発祥の民間支援施設の名称）」を日本でも導入したいと思っていたところ、戸山ハイツの下駄履き店舗の活用の申し出があり、暮らしの保健室の開設に至った。地域包括支援センターとの役割の重複などについて尋ねたが、重なる部分もあるが、お互いに他職種連携を行い、また包括では担いきれない問題などにも取り組んでいることがわかった。

考察：

社会的に影響力のある氏が運営する保健室であるが故に、上手くいっている点があるのではないと思われる。しかし、「身近なところで、気軽に相談できる居心地の良い場所」というのは、模倣が可能ではないかと考えられる。福祉における他職種連携におけるコンフリクトが指摘されているが、そこは小地域で顔の見える関係をいかに上手く築いて行けるかが鍵ではなかろうかと思料される。

郡山市

目的：

DX 郡山推進計画についてのヒアリング

Z世代活躍係についてのヒアリング

内容：

DX を活用し、オンラインでの介護認定審査会を行うなど、市民の利便性の向上に資する DX 雨を進めていた。また、市主催や共催のイベント等の効果検証を行うため、人流データーを活用し B/C を図るうえでの参考にしていた。

Z世代活躍では、Z世代の職員2名を配置し、市の広報物や取り組み内容などについて、Z世代向けのモノについてはコンサルテーションを受けていた。

考察：

DX の掛け声の下、DX のための取り組みが散見される中、介護認定審査会など、多くの関係者が一堂に会する必要性のある会議体をオンラインにシフトした事には刮目させられた。また、観

光やスポーツ等のイベントなど、効果測定が難しいものを可視化することは施策遂行と効果測定
の面から極めて有効な手段であると感じた。

Z世代については、若年層の流出が大きな課題となっている郡山市にとりメディアの耳目を集
める効果があった共に、行政と民間との窓口の一本化のように、行政とZ世代の窓口一本化で
あると感じた。萌芽期の取り組みではあるが、若年層の声を聞き、協働してまちづくりを進め
ていくことが全市的に進めば、大きな成果となるのではないかと思料した。

文京区

目的：順天堂大学日本医学教育歴史館の見学

内容：

医学塾「順天堂」以来の歴史を詳細な展示でわかるようになされていた。

考察：

本邦の医学の歴史を知る上では貴重な展示等があり、深く学べる医学教育歴史館であるが、こ
ども等を対象とした施設にはなっておらず、本市が医学に力点を置いた展示を今後進めていく
上では参考にすべき点は多くは見受けられなかった。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

221. 228. 230. 231

出張報告書

2025年2月1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・全国地方議員交流会に参加

2. 期 間 2025年1月29日（水）～ 2025年1月31日（金）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	1月29日（水）	13:00～18:00	琉球新報ホール・那覇市
②	1月30日（木）	9:30～17:00	沖縄市町村自治会館、パレット市民劇場・那覇市
③	1月31日（金）	8:00～15:00	フィールドワーク・沖縄県
④	月 日（ ）	～	

4. 登壇者

沖縄県知事 玉城デニー 氏 他

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

内容：

第20回全国地方議員交流研修会が那覇市内で1月29日～31日、同実行委員会（共同代表：北口雄幸北海道議、藤本眞利子和歌山県議、山内末子沖縄県議）が主催し開催された。地元沖縄県をはじめ全国40都道府県から自治体議員を中心に350人近くが参加し、二日間の講演や報告、討論を経て、自治体が直面する現状と打開の方向を共有した。強調すべきは「戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も十分には応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況」を踏まえ、「住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならない」との方向を共有したことである。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

233

239

240

181-2

出張報告書

2025年 3月 1日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

: ケアとまちづくり未来会議

: 社会的処方への体験

2. 期 間

2025年 2月 22日（土）～

2025年 2月 24日（月）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	2月 22日（土）	13:00～17:30	ケアとまちづくり未来会議・神戸市
②	2月 23日（日）	13:00～17:00	一般社団法人 コレカラ・サポート・千代田区
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

ケアと暮らしの編集社 代表 守本 陽一 氏

一般社団法人 コレカラ・サポート XXXXXXXXXX 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

神戸市

目的：

第4回ケアとまちづくり未来会議@神戸への参加

内容：

ケアと生活の間にあるリミナルについて医療職などと考え、ケアを暮らしに根ざしたまちづくりを進めていくための会議

考察：

大学医学部及び大学病院の移転を契機に、高度医療へのアクセスは更に容易にはなるものの、院外へ出れば患者は一人の市民であり、そこには普通の暮らしがある。暮らしと医療・介護の間（リミナル）にあるモノを活かしつつ、ケアが息づく暮らせるまちづくりの重要性を再認識した。

千代田区

目的：

コミュニティコーピングの実態把握と体験のため

内容：社会的処方ゲーミング形式で追体験することで社会的処方を行政職や医療職にたいけんさせることを目的にされたコミュニティコーピングの背景を知り、実体験するため

考察：

一般社団法人 コレカラ・サポートが長年の地域支援の蓄積をゲームに落とし込み、地域支援をゲーム形式で体験させることで、日本では未だ馴染みの浅い「社会的処方」の理解を進める上では、非常に有益であると考えた。

既に関西では尼崎市が行政職などを対象に実施しているが、堺市でも取り組むに値するものではないかと感じた。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

220-2 , 220-3 . 249

出張報告書

2025年 3月 31日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・マギーズ東京の視察
- ・SPSS ライブトレーニングの受講

2. 期 間

2025年 3月 7日（金）～ 2025年 3月 8日（土）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	3月7日（金）	11:00～17:00	マギーズ東京・江東区
②	3月8日（土）	9:00～17:00	AP 東新宿・新宿区
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

マギーズ東京 代表 秋山 正子 氏

スマート・アナリティクス株式会社 代表取締役 畠慎一郎 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

江東区

目的：

マギーズ東京の現地視察と取り組み内容のヒアリング

内容：

マギーズ東京とは、がんになった人とその家族や友人などが、気軽に訪れ、がんに関する友人のような存在である専門職（看護師・心理士など）に、安心して相談や会話ができる場であり、病院でも自宅でもない、安らげるサードプレイとしての役割を適用している。

考察：

日本初のマギーズと言うことで、様々な企業や団体、個人からの支援を受け、運営されており、誰もが無償で利用できる。がんが身近な病気である以上、こうした場は身近な場に必要であるが、立ち上げに携わられた方々がこれまで培ってこられた人的ネットワークや社会関係資本を活用して、運営されており、同様のものを立ち上げることは困難であると考えます。

しかし、専門職が友人のような存在として気軽に相談に乗ってもらえる場所の必要性は長嘯子高齢社会においては、身近な場所に必要であると考えます。エッセンスを取り入れながら、意思ある人の立ち上げを支援していくスキームが必要であると資料される。

新宿区

目的：

SPSS を活用したデータ分析能力の取得

内容：

SPSS の基本操作からデータの前処理、分析手法（相関分析、回帰分析、t 検定、分散分析、因子分析など）のハンズオン

考察：

EBPM が叫ばれて久しい中、議員自らがデータ分析を身につける必要があることから受講に至った。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

254. 255. 256. 257. 258 259

出張報告書

2025 年 4 月 1 日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

：研修会「医療機関における社会的処方の実践」

～同善病院（コミュニティホスピタル）での地域活動の事例を通じて～に参加

2. 期 間 2025 年 3 月 14 日（金）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	3 月 14 日（金）	18:30～20:00	公立豊岡病院・豊岡市
②	月 日（日）		
③	月 日（ ）	～	
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者

京都大学 教授

医療法人同善会・一般社団法人コミュニティー&コミュニティホスピタル協会

コミュニティープランナー・薬剤師 氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

豊岡市

目的：

研修会「医療機関における社会的処方の実践」

～同善病院（コミュニティホスピタル）での地域活動の事例を通じて～に参加

内容：

医療機関における社会的処方の実践事例報告及び近藤教授の助言指導

考察：

豊岡地方の機関病院で開催された研究会では、医療機関が取り組む社会的処方の実践例の紹介をうけ、大学病院などでも、社会的処方に取り組める可能性があることが思料された。

社会的処方を進めていく上で、医療機関は地域事情に精通する必要性があり、医師の地域診断力によりばらつきが見られることから、自治体との連携が重要ではないかと思料した。

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

261.

262.

263

264

出張報告書

2025年 3月 31日

会派の名称・議員氏名 小堀 清次

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目 的

- ・訪問介護の研究会に参加
- ・健康と医学の博物館の訪問
- ・医師会が取り組む社会的処方についての研究会に参加

2. 期 間

2025年 3月 19日（水）～

2025年 3月 22日（土）

3. 日 程 等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	3月20日（木）	10:00～17:00	プレイス武蔵野（武蔵野市）
②	3月21日（金）	10:00～14:00	東京大学本郷キャンパス（文京区）
③	3月22日（土）	15:00～17:30	横須賀市医師会（横須賀市）
④	月 日（ ）	～	

4. 面談者等

「とうきょう地域研究会」訪問介護の危機?! どうする在宅ケアに参加

健康と医学の博物館

館長

氏

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

武蔵野市

目的：

「とうきょう地域研究会」訪問介護の危機?! どうする在宅ケアに参加

内容：

在宅介護事業所を担う3名の方を講師に迎え、介護保険の制度変更に伴い、在宅介護の事業所運営が困難を極めていることについてレクチャーを受けた。

考察：

住み慣れた地域で最後まで暮らし続けるとの理念が提唱され久しいが、実態は逆行しており、首都圏においても事業所運営が厳しさを増しており、本市でも同様に人材確保困難の顕在化が現れてくるものと思料される。本来政府が行うべき報酬改定であるが、保育士確保のように、自治体独自での確保政策を採る必要性を実感した。

文京区

目的：健康と医学の博物館の視察、東京大学医学部及び附属病院の見学

内容：

近畿大学医学部及び大学病院の開学を見据え、健康長寿のまちのシンボルとして、ビッグバンの展示テーマの大きな一つに「医学」を据えるべきとの観点から、博物館を視察し、キャンパス見学を行った。

考察：

理科離れが叫ばれて久しいが、こどもでもわかりやすく医学を学ぶことは、工夫次第で可能であることがわかった。近年、大学は地域への貢献も求められており、大学の知見を地域に還元していくための工夫として、医学部にビッグバンの監修を依頼することも可能ではないかと思料した。

横須賀市

目的：社会的処方と地域包括ケアシステムⅢに参加

内容：医師会が学識者を招き、社会的処方の事例発表を行い、神奈川県立保健福祉大学の学識者がコメントを行った。

考察：

通常、医師は患者を診断し、処方箋を書き、患者に薬が提供される。その医師で構成される医師会が、薬以外のモノを処方するのは極めて異例かつ、通常業務からは想像できない。しかし、在宅医療や自宅での見取りを推進してきた医師会では、患者の前に住民を診るとの視点に立ち、社会的処方を進めている点が大変優れており、大いに参考になった。

医師会に加盟する開業医と地域との連携を深化には課題があるようだが、そこは行政が大きな役割を果たしていけるのではないかと思料した。

張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

267. 268. 272